

# 奈良教育大学特別支援教育研究センター NEWS LETTER

TEL&amp;FAX 0742-27-9314

E-mail tokubetsu@nara-edu.ac.jp

HP : <https://www.nara-edu.ac.jp/cp-support/>

## —ごあいさつ—

### 学校教育講座 特任准教授 中西 陽

こんにちは。令和6年4月に第二子を出産し、約1年間の育児休業をいただいた後、令和7年4月に復職いたしました。同時に、第二子も子ども園に通い始めました。

新たな環境に慣れるには時間がかかるだろうと予想しておりましたが、すぐに適応していくわが子の姿は頼もしくもあり、一方で母としては少し寂しく、複雑な心境で毎日送り出しております。そんなわが子の姿に励まされ、私自身も研究者・教育者・臨床家として、あらためて努力を重ねていきたいという思いを強くしているところです。

現在、私は自閉スペクトラム症のある児童を対象とした、メンタルヘルス予防教育に関する研究を進めています。令和5年度には、当センターにおいて、タブレット端末を用いた学習プログラムによる個別の介入研究を試験的に実施いたしました。参加してくださった児童の皆さんには共通して、「自己効力感（＝さまざまな行動に対する自信）」の向上が見られました。この実践結果を踏まえ、今年度はプログラムの改良を進めております。今後は、通級指導教室など学校での教育的支援の場にも本プログラムを展開していきたいと考えています。

今後も、当センターのさまざまな活動を通じて、子どもたちが健やかに、自分らしく生きられる社会の実現に向けて尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



### 特別支援センター スタッフ一覧

センター長：越野 和之（教育学部兼務）  
 副センター長：全 有 耳（小児科医・教職大学院兼務）  
 センター専任教員：富井 奈菜実（公認心理師）  
                             小 松 愛（臨床心理士・公認心理師）  
 相 談 員：角 田 悠 至（臨床心理士・公認心理師）  
 教育学部兼務教員：中 西 陽（臨床心理士・公認心理師）  
 教職大学院兼務教員：中川 貴明  
                             林 喜 子  
 事 務 員：大久保 直子・大槻 寿子

## 令和 6 年度の取り組み

### 教育相談・発達相談

|      |       |      |       |        |      |
|------|-------|------|-------|--------|------|
| 相談総数 | 376 件 | 内訳   |       |        |      |
|      |       | 発達相談 | 316 件 | ／教育相談等 | 60 件 |

### 保護者・子ども向けプログラム（のべ人数）

|                        |     |       |        |       |
|------------------------|-----|-------|--------|-------|
| 寺子屋（第 2・第 4 水曜+1 回／月）  | 子ども | 135 名 | 学生スタッフ | 167 名 |
| 夏休み!!宿題おたすけプロジェクト(3日間) | 子ども | 13 名  | 学生スタッフ | 20 名  |
| 鉄オタ倶楽部（全 10 回）         | 子ども | 81 名  | サポーター  | 64 名  |

そのほか、ペアレント・トレーニング（奈良市親子関係形成支援事業委託）を実施しました。

### 講座・研修

8/25 「自閉スペクトラム症児者の理解と支援～『鉄オタ倶楽部』の活動とその意義～」  
講師：別府 哲先生／富井 奈菜実先生

12/26 「障害のある子どもへの理解と保護者の思い～地域で共に生きる～」  
（共催：奈良県教育委員会特別支援教育推進室） 講師：佐藤 慎二先生

R7/3/22 「発達障害のある子の育ちと教育の役目  
～学校関係者に知っておいてほしい発達障害児の思春期について～」 講師：岡田 俊先生

### センターからのお知らせ

Facebook にてイベントのお知らせや活動記録をアップしています📺

HP と合わせて、チェックよろしくお願いします！

特別支援教育研究センター  
Facebook



奈良教育大学鉄オタ倶楽部  
Facebook



## 令和 6 年度 活動報告

### 鉄オタ倶楽部

鉄オタ倶楽部は、発達障害のある子どもたちの“好き”をテーマに、集団の中で自然な仲間づくり、社会的スキルの獲得を目指したプログラムです。

令和 6 年度は元メンバー（現サポーター）のツテを使って、鉄道会社の見学に伺いました！恒例の発表会では N ゲージと撮り鉄をメインに、ボリュームたくさんのクイズ大会や鉄オタあるあるなど魅力的な個人発表も。どんどん進化していきなあと感じています。

### 学習支援プログラム「寺子屋」 & 「夏休み!!宿題おたすけプロジェクト」

月に 2 回～3 回、放課後に学習支援プログラム「寺子屋」を実施しています。学生スタッフとセンタースタッフと一緒に学習課題を考えて指導にあたっており、学生の実践の場でもあります。

夏休みには「夏休み!!宿題おたすけプロジェクト」を 3 日間実施しました。ワーク類や〇〇新聞など、それぞれ持ってきた宿題に集中して取り組んでいました！

### ■ワークショップのお知らせ

『めざせモノモンマスター  
—墨でオリジナル妖怪を描こう—』  
R7.8.3 (sun)

妖怪書家・逢香さんをお招きし、筆と墨を使った作品作りをレクチャーしていただきます！習字はちょっと...キレイな文字を書くのは苦手...という書道への苦手意識があるお子さんも、きっと楽しめることと思います。オリジナルのモンスターや妖怪を、大きな紙に思いっきり描きましょう！

できあがった作品は今秋に東大寺で開催する『東大寺モノモン展』に展示する予定です。

モンスターマニア、  
妖怪マニア、絵を描いて  
みたい人などなど...  
ご参加お待ちしております！



詳細はセンターHPへ



### 【お問い合わせ先】

奈良教育大学特別支援教育研究センター

住所：〒630-8528 奈良市高畑町（奈良教育大学高畑キャンパス新館 1 号棟 1 階）

TEL & FAX：0742-27-9314 火・水・木（祝日を除く）午前 10 時～午後 1 時／午後 2 時～午後 4 時

メールアドレス（事務）：tokubetsu@nara-edu.ac.jp